Apache Web サーバの設定: 2.ログ出力先の変更

仮想サーバの作成のみにて最低限の設定が完了となり、Webの公開も可能となりますが、 デフォルトの設定では、マスタードメインのログ出力先と同一のファイルへと ログの出力が実施されております。

下記の方法にてログの書き出しが可能となりますので、アクセス解析をご利用の場合には、 必ず、ログの書き出しを実施してください。

1.まずは、ログ出力先ディレクトリを作成いたします。

[その他] [コマンドシェル] と進み、ディレクトリの作成コマンドをテキスト欄に入力しまして、

[コマンドの実行]をクリックします。

ログイン名: root	モジュール設定	-	$\neg \neg \gamma$, $l^{\circ} < - 0$	
💷 Webmin		-	コマント シェル	
💷 システム	実行する リッシューリューン どを下の キキストコマール	ピーキーマノださい (絵画の)	ショーン ボのギ オークロリカ亦再オスロけっかっつう いち使用のきます	
💷 サーバ			コマンドのナイレンドリーを更するには「ロコマンドで使用してよす。	
🧧 その他 🔾	「一」」「「小田東行」」 「一」」「小田東行」 「一」」「小田東行」			レコレレーギカリマ
HTTP Tunnel	コマントの実行:) mkdir /var/log/nttpd/example	<u></u>		ピストリーをノリア
PHP Configuration				
Perl モジュール				
SSH/Telnet ログイン				
Text Login マップロードとガウンロード				
カスタム コマンド				
Qマンド シェル				
システムおよびサーバのステータ				
ファイル・マイ ニジャ 保護された」 デオ・カトロ				
I未護されいこWebナイレンドワ				
Uluster 🖸				
Un-used Modules				
Search:				
🛆 View Module's Logs				
🏠 システム情報				
Sefresh Modules				
● ロジアンド				

例としまして、下記のコマンドを実行しまして、ディレクトリを作成しております

mkdir /var/log/httpd/example

2. 次に、ログ出力先を切り分ける作業を Apache の設定より実施いたします

[サーバ] [Apache Web サーバ] [www.example.com 仮想サーバ]と進みます。

Apache Web サーバの設定: 2.ログ出力先の変更



3. 仮想サーバのオプション画面となりますので、一覧より [ログファイル] をクリックします。



4. ログファイルの設定画面となりますので、必要な内容を入力しまして、[保存]いたします。

Apache Web サーバの設定: 2.ログ出力先の変更

モジュール インデックス	ログファイル	
	www.example.com(こついて	
www.example.comの日	グファイル	
エラーログの記録先	◎ デフォルト ◎ システムログ	
	● ^{ファイル} /var/log/httpd/example/error_log ● ^{プログラム}	
エラーログレベル	警告状態 (warn) ▼	
デフォルトのログ形式	● 共通口グ形式 ○	
	特定のログ形式	
	名前 形式 形式	
アクセスログファイル	形式 書き込み先 ファイルまたはプログラム If set	
	◎ デフォル ● combined ● ファイル ◎ ブログラム [/var/log/httpd/example/access_log]	
保存		

🍙 サーバのインデックス に戻る

エラーログの出力先 : ファイルを選択し、テキスト欄に /var/log/httpd/example/error<u>log</u> と入力します

エラーログレベル : プルダウンより 警告状態(warn)を選択します

アクセスログファイル :形式欄は、 テキスト欄を選択し、テキストには、combined と入力します

書き込み先欄は、 ファイルを選択し、/var/log/httpd/examp

と入力します

一意的なソリューション ID: #1023 製作者: Prox System design 最終更新: 2015-06-05 09:59